

<p>1 部の 使命</p>	<p>私たち教育部は、ふるさと養父市の未来を担う人々が、学ぶ楽しみ・育てる喜びを感じられるよう、「生きる力」を育む0歳からの一貫した教育環境を、全職員が個々の能力を出し合い、市民と共に創ります。</p> <hr/> <p>令和3年度に取り組んだ部の使命についての評価を記載してください。</p> <p>【令和3年度評価】 市民との協働により第3期「養父市教育振興基本計画」の方針に基づき、「生きる力」を生涯学ぶまちを柱として、「家庭・地域・学校の連携による教育環境づくり」「0歳からの一貫した教育環境づくり」「生涯学習・次世代育成の環境づくり」「スポーツ振興の環境づくり」に取り組んでいく。</p>
------------------------	--

<p>2 それ までの 経営 評価</p>	<p>令和3年度の部の経営目標に対する実績及び評価、分析、対応等を記載してください。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要事業等 ○小中一貫教育実施校数12校／12校・達成 ○小規模特認校就学児童数5人以上／15人・達成 ○全国学力、学習状況調査(教科調査)全国平均値と同程度 ／全国平均±5ポイント以内・達成 ○市学力学習状況調査(質問紙調査)肯定値が全国平均値以上 ／全国平均±5ポイント以内・達成 ○子どもサポート室通所補助の新設／達成 ○スクール・サポート・スタッフの配置12校／12校・達成 ○学校運営協議会実施校数12校／12校・達成 ○部活動の地域移行の検討／達成 ○タブレットを活用して児童生徒1人当たりが学習した教材数 ／平均236教材(年間) ○こども園及び保育所巡回相談回数44回(各園所4回)／50回・達成 △土曜学習教室の開催18回／17回・コロナ感染対策のため1回中止となり未達成
---------------------------------------	--

それ
まで
の経
営評
価

- ・各施設利用者等
 - 公立こども園及び保育所利用者の満足度80%以上/98.6%・達成
 - 学童クラブ利用者の満足度80%以上/96.8%・達成
 - 待機児童数(こども園、保育所、学童)0人/0人・達成
 - △大庄屋・青谿書院記念館の利用者数/97.5%・未達成
 - △学校施設等利用者数5%増 16,170人/11,227人・未達成
 - △放課後子ども教室参加数5%増 2,623人/2,450人・未達成
 - △指定管理施設利用者の確保、要求水準数値の達成 8,000人/2,215人・未達成
 - △天文館施設利用者数/前年度比57%・未達成
 - △全天候運動場(全体)利用者数/前年度比99%・未達成
 - △都市公園施設利用者数/前年度比67%(プール・健康支線施設を除く)・未達成
- ・各種催し参加者数
 - △成人式参加率/R2年度成人式(延期分)54.5%、R3年度成人式78.2%
- ・各種助成制度申込者数
 - △若者未来応援奨学生応募者数/前年度比133%(R3年度3名、R4年度4名)
(予算は10名分)
- ・職員の健康管理
 - 年次休暇取得日数 年間8日以上/9.5日・達成
 - △時間外勤務時間 R4年度4,777時間/R3年度5,615時間・未達成

※各課の実績をもとに下記を記載する。

【評価】

部の経営目標5項目のうち、・重要事業等は10項目達成1項目未達成、・各施設利用者等は3項目達成7項目未達成、・各種催し参加者数・各種助成制度申込数は未達成・職員の健康管理は、1項目達成1項目未達成であった。

【原因】

新型コロナウイルス感染症対策の対応に追われた1年であったが、・重要事業等は、スケジュール感をもって事業進捗を図ることができた。

こども園・保育所・学童クラブ・小中学校の休園・休校の対応などにより時間外勤務削減を達成することができなかった。また、各施設等の休館や開館時間の制限により催し物の日程変更や中止などにより利用者数が減少した。

【対応】

3課を2課に再編成し、機動力を高め、組織強化と事務処理の効率化及び簡素化を図り、スケジュール感とスピード感をもって業務に取り組む。

また、課題を先送りすることなく、職員同士で共有し課題解決へ向け努力する。

<p>3 外部 環境</p>	<p>◎機会</p> <ul style="list-style-type: none"> 【政治】 国の子育て・教育政策の進展 【社会】 情報化社会の進展 【市民】 子育て・教育に対する意識の高さ 【地域】 地域歴史文化の再認識 <p>▼脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地域】 人口減少 【市民】 少子高齢化、核家族化 【競争】 近隣市町の子育て・教育分野の充実 【環境】 新型コロナ感染症の拡大
------------------------	--

<p>4 内部 環境</p>	<p>○強み</p> <ul style="list-style-type: none"> 【使命】 使命が明確になり組織力の発揮が可能 【政策】 子育て・教育施策の充実 【計画】 施設個別計画が策定済 【協働】 指定管理者、地元団体などとの協力体制が充実 <p>▽弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> 【市民】 政策における市民起点の浸透不足 【計画】 人口減や施設の老朽化に伴う統廃合の推進 【人材】 専門職の後継者不足 【経費】 施設維持整備の予算確保
------------------------	--

<p>5 重要 経営 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【子育て】 日本一子育てをしやすいまち 【教育】 0歳からの一貫した教育環境づくり
-------------------------------	--

<p>6 部の 経営 体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：3課、2センター、1保育所、7こども園、8小学校、3中学校、1義務教育学校 教育課(15人)、歴史文化財課(5人)、こども育成課(11人)、学校給食センター(28人)、生涯スポーツセンター(10人)、保育所・こども園(84人)、小中義務教育学校(32人) ・ 人員：187人 部長職3人、管理職13人、保育士62人、調理員37人、指導補助員(ALT含む)19人、校務員13人、その他専門職(文化財、管理栄養士、心理士等)7人、事務職33人 ・ 予算：2,045,126千円
-------------------------------	--

<p>7 部の 経営 目標</p>	<p>全庁版の経営目標の達成につながる事業及び数値目標を記載してください。</p> <p>【柱①市民】 E：特色ある学校教育の実施校の割合 22% F：学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合 81.6% F：放課後子どもプラン参加率 38.5% G：自分らしい暮らしがあると思う人の割合 9.0% G：時間外勤務 △3%削減（前年度との比較） G：職員の健康管理 年次休暇取得日数 1人8日／年以上 G：スポーツ施設利用者数 178千人 G：スポーツ大会参加者数 2千人</p> <p>【柱②地域】 C：子育てを支えてもらっていると感じる親の割合 86.4% C：この地域で子育てをしていきたい親の割合 97.3%</p> <p>【柱③公共】 G：若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 9.0% G：卒業後の進路状況等（中高大） 96.4% G：若者未来応援奨学生へのUターン者数 18人 J：意識して地域の子どもたちや高齢者等の見守りをを行っている人の割合 9.0%</p>
-------------------------------	---

<p>8 部の 経営 方針</p>	<p>【市民】 市民からの信頼度のさらなる向上 【経営】 教育、子育て環境の格差是正の推進 【政策】 デジタル社会に向けた取り組みの充実 【価値】 政策における更なる独自性強化による市民評価の向上 【協働】 市民との協働の積極的活用による地域力の拡大 【人材】 後継者の育成、特に専門職の育成 【改善】 アフター・コロナ社会に向けた取り組みの充実 【財政】 安定的な財源の確保 【計画】 施設の計画的な維持管理の推進</p>
-------------------------------	---

市の重要施策の取組内容から関係のある事業を抜き出し、数値目標を設定してください。

【新規】

- ・「養父市教育のあり方検討委員会の設置」教育・子育て・教育施設等のあり方に関して調査及び審議を行う。／3月までに答申
- ・「演劇ワークショップの実施」演劇の手法を活用し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図る。／9校9回
- ・長寿命化計画に基づき学校施設、都市公園施設等の改修工事の実施／5件
- ・「子ども第三の居場所整備」子どもたちが安心して過ごせる環境で、将来の自立に向けて生き抜く力を育むことが出来る場所として整備する。／3月までに整備
- ・文化財保管庫整備事業の事業計画を策定する。／3月までに策定

【拡大】

- ・指導補助員を増員する。／11人を14人に増員
- ・個別の支援を必要とする子どもたちの学びを支援する。／対象者全員
- ・青谿書院事業の事業計画を策定する。／3月までに策定

【強化】

- ・「魅力ある学校づくりの推進」小中一貫教育・義務教育学校・小規模特認校・コミュニティスクールを展開する。／学校運営協議会の開催各校年2回以上実施
- ・「ふるさと教育の充実」池田草庵先生をはじめとする先人教育を充実させる。
／12校
- ・「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」スクール サポート スタッフを全学校に配置し、感染対策を徹底し、教育活動を推進する。／12校13人
- ・「部活動の段階的な地域移行」地域人材を部活動指導員として配置する。／4人
- ・「オリエンテーリング競技の普及やPR活動の推進」2026WMG開催に向け、オリエンテーリング競技について、体験会の開催等競技の普及やPR活動の実施
／通年
- ・名草神社修理工事の完了により地域との連携を図る。／10月式典開催

【改良】

- ・「教育相談支援体制の充実」不登校の児童生徒等を支援する「子どもサポート室」の開設時間の延長等運営を見直す。／午後1時～5時を午前9時～午後3時までに
- ・「土曜学習教室の実施」対象を中学生にも広げ、指導科目を増やし、子どもたちの学びの場を充実させる。／20回実施
- ・3課を2課へ再編し、組織強化と事務処理の効率化及び簡素化を図る。
／時間外勤務3%削減・年次休暇取得日数8日以上
- ・「教育・保育施設の適正な維持管理」所管する施設（こども園、保育所、学童クラブ、子育て移住サポートセンター）を安全で安心して過ごせる施設として維持していくため、適正な維持管理を行う。／通年
- ・「食育推進の調理番組の改良」情報課と共同制作している「おうちでつくろう学校給食」を関係者等の意見を反映させながら、改良していく。／通年

【維持】

- ・「子育て世代への負担軽減対策」保育料の完全無償化、子育て応援給付金の支給を継続して実施する。／通年